

# 株式投資の魅力～ASEAN～ “未だ上昇余地大のタイ株式市場”

リサーチ部長 庵原 浩樹  
DID:03-3666-6980 (内線 244)  
E-mail: hiroki.ihara@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2013年3月4日

## ■未だ上昇余地大のタイ株式市場

世界的な株高の中、タイ株式市場の動向が注目される。タイ SET 指数の 2013 年年初来上昇率は既に 10%を超え、昨年来上昇率は 50%を超えた。

高値更新中のタイ SET 指数は、2010 年年初に比べ、約 2 年間で 2 倍の 1,500 ポイント台に乗せてきた。それでも、予想 PER は、今期 14 倍台、来期 12 倍台と、未だ割安感が強い。配当利回りは今期予想ベースで 3.19% (3/1 現在、税引前) と相対的に高。また、タイバートは日本円だけでなく、USドルに対しても上昇。タイ株投資は、キャピタルゲイン、インカムゲインに加え、通貨高のトリプルメリットを受ける可能性もある。

## ■地政学的に優位な国、タイ

タイの株価インデックス、タイ SET 指数は、日本を除くアジアを代表する指数の MSCI アジア APEX50 インデックスを大きくアウトパフォーム。

GDP/人が約 5,400 ドルのタイは、インドネシアほどの大幅な経済成長は見込めないものの、隣国の GDP/人が 1,000 ドル前後の、ミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナムなどとともに、2015 年の ASEAN 経済共同体構築に向け、成長戦略をとっている。ミャンマーは長く続いた軍事政権が終焉し、民主化を推進しており、目覚ましい経済発展が期待されている。今や、自動車、精密機器などの製造業拠点タイは、地政学的に最も優位な国のひとつと言えよう。

## ■日本の欠かせないパートナー

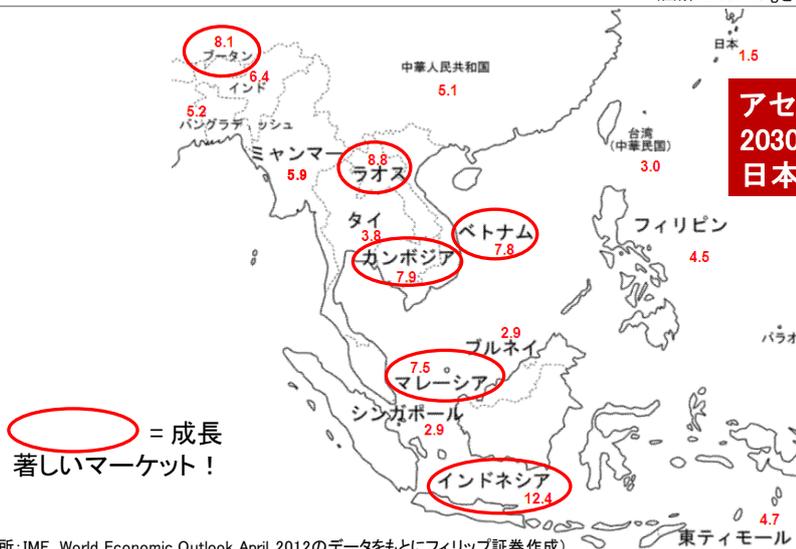
インフレ率も程よいタイは、今後、4、5%台程度の経済成長の見通し。立憲君主制をとり、国民の尊敬を集めるプミポン国王の人気は高い。一時、対立もあった政治は安定。1960 年代から外資への製造業の市場開放(トヨタなど進出)が、経済発展の一端を担っている。英語が通じ、親日で仏教国であるタイは、日本のかけがえのないパートナーである。

	2013年3月1日 現在		株価騰落率(%)		予想PER(倍)		配当利回り(%)	
	昨年来	年初来	今期	来期	前期実績	今期予想		
NYダウ工業株30種	15.32	8.90	12.57	11.53	2.51	2.65		
S&P 500種	20.72	8.25	13.71	12.30	2.16	2.27		
ナスダック総合指数	21.67	7.07	16.40	13.83	1.53	1.50		
S&P トロント総合指数	6.84	3.71	13.91	12.29	2.95	3.10		
メキシコホルサ指数	18.66	0.63	15.74	14.41	1.32	1.54		
ブラジルホベスハ指数	0.23	-6.67	11.57	9.55	4.62	3.39		
ユーロ・ストックス50指数	12.96	-0.38	10.87	9.72	4.54	4.39		
FTSE100指数	14.47	7.65	11.63	10.58	3.69	3.92		
フランス CAC40指数	17.09	2.20	11.19	10.05	3.80	4.10		
ドイツ DAX指数	30.68	1.26	11.44	10.09	3.34	3.43		
スペイン IBEX35指数	-4.43	0.69	11.47	9.86	6.49	6.02		
イタリア FTSE MIB指数	3.88	-3.67	10.67	8.78	3.44	4.00		
アムステルダム AEX指数	8.72	-0.66	11.41	10.18	4.66	3.25		
スイス SMI指数	28.06	11.43	14.47	12.98	2.95	3.33		
日経平均株価	37.27	11.65	22.24	17.66	1.75	1.77		
シンガポール ST指数	23.55	2.43	14.79	13.55	2.83	2.97		
FTSEブルサマレーシアKLCIインデックス	6.97	-2.61	14.72	13.51	3.58	3.61		
タイ SET指数	50.16	10.61	14.17	12.53	2.65	3.19		
ジャカルタ総合指数	25.89	11.47	15.42	13.09	1.88	2.01		
フィリピン総合指数	51.93	14.27	19.06	17.11	1.99	2.17		
香港ハンセン指数	24.12	0.94	11.07	10.06	3.09	3.46		
中国上海総合指数	7.28	5.65	10.09	8.82	2.40	2.89		
ムンバイ SENSEX30種	22.41	-2.71	15.26	13.25	1.56	1.67		

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



**アセアン10カ国の  
2030年のGDPは  
日本の1.7倍に!**

(出所: IMF World Economic Outlook April 2012のデータをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。フィリップ証券は当資料を使用している記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則「平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。